

平成30年2月2日
釧路川標茶地区水害タイムライン検討会資料

今回のグループワークの実施方法

～ 平成28年8月大雨災害の振り返り ～

1. グループワークの流れ

◆平成28年8月20日から23日にかけて、雨が降り、様々な情報が入ってくる中で、

- 各機関でどのように対応したか
- 各機関間でどのようなやり取りを行い、連携をしたか
- 様々な情報の中、避難に向けた準備、どのように避難したか
- その中でどのような課題があったか

など、以下の流れで振り返り、整理しましょう！

【グループワークの手順】

①各機関で行った防災行動、避難に向けた行動(自治会レベル、個人レベル)

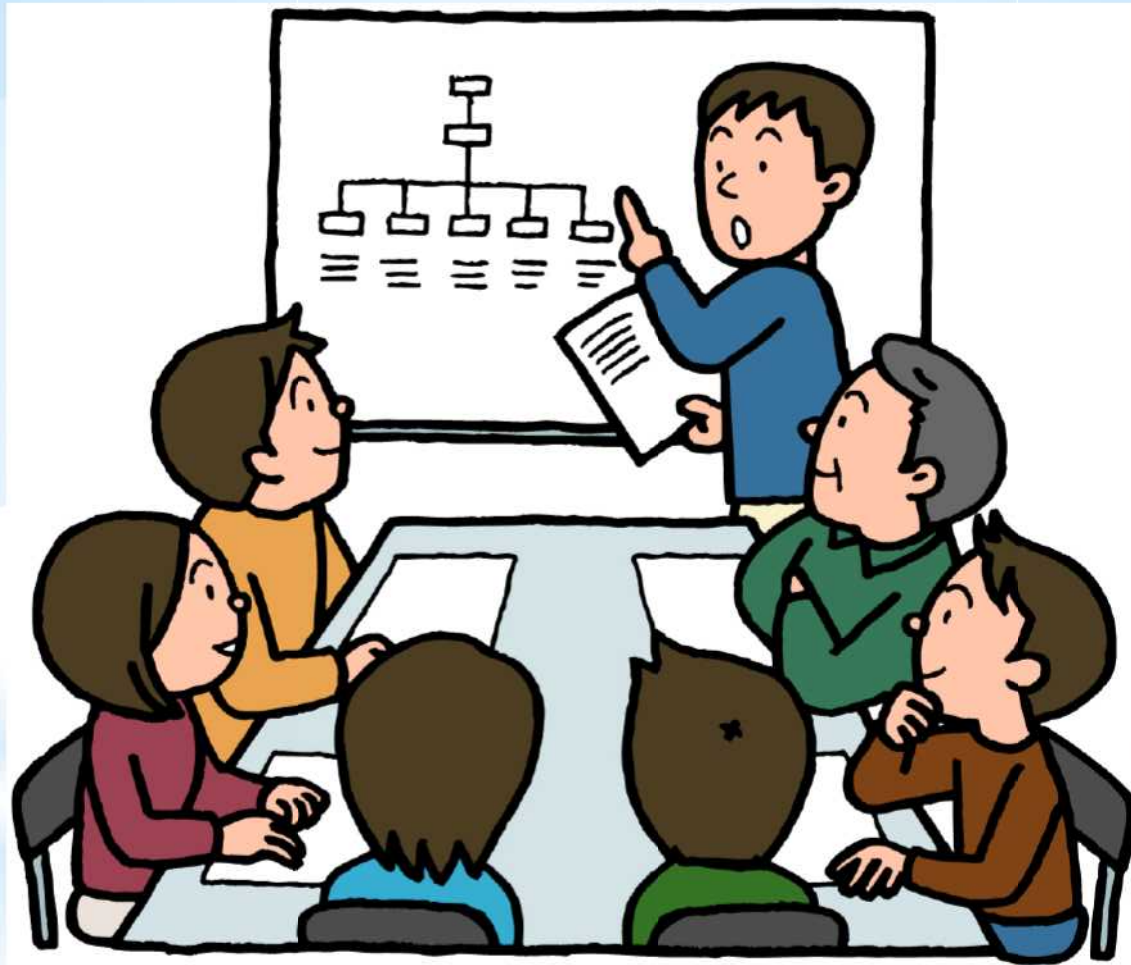


②各防災行動の課題抽出



③振り返りシートへの添付

◆グループワーク



2. グループワークの方法① 段階ごとの検討

○各班において、以下の各段階ごとに、当時の対応を振り返りましょう。

- ・フェーズ1: 雨の降り始めから避難準備情報発令(21日13時半頃)までの対応
- ・フェーズ2: 避難準備情報発令から避難勧告解除(22日4時半頃)までの対応
- ・フェーズ3: 避難勧告解除後(22日4時半以降頃)の対応

フェーズ	日付	時刻	雨量 (mm)	水位 (m)	防災気象情報		標茶町		
					大雨警報・注意報	洪水警報・注意報	防災体制	避難勧告	避難所開設
1 雨の降り始めから避難準備情報発令まで	8/20	0時	0	19.63	大雨(洪水・土砂)注意報				
	8/21	0時	13	19.97	大雨(洪水・土砂)警報				
		11時	83	20.90		洪水注意報			
		12時	85	21.32			災対本部設置		
2 洪水警報発表から洪水警報解除まで	8/21	13時	90	21.58		※14時38分以降		避難準備情報	避難所4か所開設
		14時	92	21.92		洪水警報		避難勧告	
		15時	99	22.15					
		21時	113	21.84					
	8/22	23時	116	21.68					
		0時	117	21.55	大雨(土砂)警報	※0時34分移行			
		1時	117	21.46		洪水注意報			
3 洪水警報解除以降	8/22	4時	117	21.18				※4時30分解除	
		5時	117	21.10	※5時26分移行				※5時避難所閉鎖
	8/23	6時	117	21.01	大雨注意報	※15時50分解除			
		16時	136	20.50	大雨(土砂)警報				
		18時	165	20.67					
		19時	167	20.87		洪水注意報			
		21時	173	21.13	大雨(洪水・土砂)警報				
		0時	180	21.09					
		7時	186	20.58	大雨(土砂)警報				
		11時	186	20.58	※11時28分注意報へ移行				
12時	186	20.53	大雨注意報						
8/23	14時	186	20.52			※14:45解散			
	16時	186	20.45	※16時17分解除	※16時17分解除				

※水位の着色は、緑色:水防団待機水位超、薄い橙色:氾濫注意水位超、濃い橙色:避難判断水位超、赤色:氾濫危険水位超 を示す。

◆グループワークの方法②

◆付せん紙に、各機関それぞれの対応をご記入ください。

- お手元の付せん紙とサインペンをお使いください。
- 1つの行動に対して、1枚の付せん紙を使用してください。
- ご自身の所属機関や部署、班等をご記入ください。
- 防災行動を実施した概ねの時刻もご記入下さい。

12時ごろ
建設班

釧路川周辺のパト
ロールを実施

17時ごろ
〇〇町内会

町内会の班員に避
難するように伝達

◆グループワークの方法③

◆実施した防災行動について、

- ・〇〇する時に△△が課題だった
- ・あの時〇〇しておけば良かった など

問題点や課題があれば、**赤色**の付せん紙に記載してください。

17時ごろ
〇〇町内会

町内会の班員に避難するように伝達

17時ごろ
〇〇町内会

避難行動に支援が必要な方の対策